

# 兵庫県保険医協会第80回評議員会のご案内 (臨時(決算)総会・第34回共済制度委員会)

東日本大震災対策や審査指導対策、医療改善運動、会員の身近な要求に応える活動など、前半期の活動を振り返り、後半期の活動方針を協議するため、標記の会議を開催致します。お繰り合わせの上ご出席いただくようご案内いたします。

**11月20日(日)13時**～ 兵庫県保険医協会会議室  
・13時～ 第80回評議員会 ・14時35分～ 臨時(決算)総会

## ●14時55分～ 第34回共済制度委員会

### 「混迷する金融情勢と生保業界の運用戦略(仮)」

三井生命保険株式会社常務執行役員・関西営業本部長 **石川 哲朗 氏**

欧州の金融と財政の複合危機が進行しています。特に夏場以降、グローバル化した金融市場は激震に見舞われています。日本経済は東日本大震災と収束の見えない福島原発事故、円高の進行、所得・雇用環境の悪化により景気を支える個人消費の回復はほど遠い状況です。国内生保業界は、健全性基準の厳格化のなか国債金利の低下に象徴される低金利による運用難に直面しています。保険医年金の幹事会社であり、受託シェアを引き下げた三井生命の現状と運用を含めた経営方針は。今回は関西営業本部長に直接聞きます。

## ●16時～ 特別講演

### 「震災復興と社会保障の財源を考える」

暮らしと経済研究室主宰 **山家 悠紀夫 氏**



東日本大震災の復興と社会保障拡充の願いに対して、民主党政権は、所得税の増税と消費税増税を打ち出しています。しかし、埋蔵金の活用や国債発行をすれば増税する必要はないなどの批判の声も広がっています。今回お迎えする講師の山家悠紀夫氏は、「増税にもいろいろな選択肢がある」「大企業と高額所得者を優遇してきた不公平税制をただせば、消費税を増税しなくても10兆円の財源は生み出せる」と述べています。40年以上に渡り日本経済の中枢に身をおいてきた山家氏の講演会に是非ご参加下さい。

-----  
<やんべ ゆきお> 愛媛県出身。1964年、神戸大学経済学部卒業。第一銀行に入行。第一勧業銀行虎ノ門支店副支店長などを経て、1994年、第一勧業総合研究所専務理事に就任。2001年～2003年、神戸大学大学院経済学研究科教授。2004年「暮らしと経済研究室」を開設。

返信 FAX 078-393-1802

## ■第80回評議員会・臨時(決算)総会・第34回共済制度委員会

出席します  欠席します

## ■懇親会(18時～、会費不要) 会場・龍郷(南京町)

参加します(お席の準備の都合上、事前の申し込みをお願いします)

地区 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

兵庫県保険医協会

244号 2011年10月25日

# 神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

## 医療安全管理研究会

# 相談窓口の実情見えた



神戸支部は9月10日、協会会議室で医療安全管理研究会を開催し、28人が参加した。「神戸市医療安全相談窓口における苦情・相談状況」について神戸市保健所予防衛生課医務薬務係長の都倉亮道氏が講演した。参加者の感想文を紹介する。

今回の研究会に参加して、行政の実情がよくわかりました。結局のところ、医療機関の対応が気に入らない患者の文句の「聞き役」というところでしょうか。

もっとも、それも大切なことではあるでしょう。スライドによると、かなりの患者が行政に文句を言うことで「気が晴れて」いるようです。しかし、文句を言うだけでは飽きたらず、医療機関に対し、行政処分をさせようとするクレーマーもかなりいるようで、行政も対応に苦慮しているようでした。

行政はあくまでも「第三者としての立場」で「患者」と「医療機関」の間を取り次ぐとのことでしたが、十分と

----- (2ページへ続く)

は思えません。行政もクレーマーからの保身が大変で、とても「患者」と「医療機関」と取り次ぐことは無理とされます。別に行政が手を抜いているというのではなく、行政としてできるのはこの程度が限界だということでしょう。

われわれ、医療機関としては行政に頼ることはできませんし、また他の機関に頼ることもできません。最後は医療機関自体が苦情や言いがかりに対して、しっかりした対応をしていくしかないのだということがよく分かりました。

【灘区 開業医】



## かざみどり通信

神戸支部ニュースでは、会員どうしの交流を深めるため役員・会員投稿シリーズ「かざみどり通信」を始めました。テーマは自由です。ぜひご投稿ください。

今回は、神戸支部長の田中孝明先生(長田区)です。

# ヴィッセル神戸 大人のサッカースクール

上記はJ1リーグのヴィッセル神戸が主催する20歳から55歳までの大人を対象にしたサッカーを教える教室である。

詳しくはヴィッセル神戸のホームページを見ていただけたらと思いますが、西は本拠地のいぶきの森から、ホームスタ(ホームズスタジアム神戸)、ハーバーランド、三ノ宮、ポートアイランド、六甲アイランド、尼崎まで各場所で毎日、どこかで開催されている。生徒はほとんど初心者というか、経験者はお断りである。

通い始めて、はや5年、間違いなく最年長の部類に入るが、30歳代、40

歳代の連中と楽しくやっています。さすがに、この年齢になると、ずっと走り回るといのは無理なので、適度に緩急つけて練習しています。

私が通っているのは西区にある、いぶきの森というところでヴィッセル神戸の練習場でもあります。週一のスクールですが、毎週行くのを心待ちになるぐらいの魅力はどこにあるのかというと、サッカーというスポーツの奥深さはいまでもなく、生徒であるチームメイト、また先生であるコーチに尽きると思います。

生徒は色々な職業の人がおり、プライベートでもJリーグを観に行ったり、



ゴールデンボーイズ F.C. 上段左より、スミモト、タナカ、オダ、コウノ、マキノ、オオハシ  
下段左より、ヤマサキ強化部長、マツモト監督、ヨシダ、“10”フジタ、ツヅキ

飲み会を開いたりしております。スポーツマン(女性もいますが)らしく、皆さんあっさりしており、いい人ばかりです。

コーチは元Jリーグの方々なので、プレーは超一流で教え方もさすがに的を得たアドバイスで、拙い私を厭な顔もせず、つきあってもらえます。プロはプレーも一流なら、性格も最高です。

保険医協会の会員の方も何人もスクールに通っておられますし、サッカーなんて絶対無理と思っている皆さん、一緒に爽やかな汗をかきませんか?いぶきの森でお待ちしております。

ゴールデンボーイズ F.C. 統括部長  
神戸市長田区医師会フットサル部キャプテン  
田中 孝明

### 投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療に関わることや、主張などお寄せください。

◇ e-mail [tamura@doc-net.or.jp](mailto:tamura@doc-net.or.jp) 担当: 田村まで  
◇ TEL 078 - 393 - 1817 ◇ 078 - 393 - 1802

